

第142号 2025年10月24日



技術営業グループ
今村 芳敬

サウジアラビア出張

10月16日から22日にサウジアラビアのRadwa Chickenの農場調査と商談のため出張しました。

日本からサウジアラビアへの直行便はないため、16、17日は移動日となり成田からカタールのドーハ経由で首都のリヤドに入り、さらに乗り換えてタブークまで移動しました。タブークの空港でRadwa ChickenのKhalidさんが迎えに来て、Khalidさんの友人のFerasさんも招いて夕食会を開いてくれ、アラビア料理をいただきました。

Khalisさんはアメリカ留学で建築士になり、アメリカの建設会社に務めていましたが父でありRadwa ChickenのオーナーであるMohammadさんから呼び戻され、今回のプロジェクトを進めています。Ferasさんは現在サウジアラビアで進行中のThe Lineという幅200m、高さ500m、長さ170kmという直線型高層都市スマートシティーのプロジェクトに関わっている会社に務めている建築士の友人とのことでした。

2人とも日本に来たことがあり、街がきれいに保たれていること、電車内が静かなこと、また、建築士なのでお寺や神社の建物を興味深く見たことなどを話してくれました。



Khalisさん（左奥）、Ferasさん（左前）との食事会

18日はタブークから農場のあるタイマという町まで車で移動しました。天気は晴れで雲は見当たりません。一旦町を出ると道路の周りは砂漠（砂ではなく土や岩）で学校の運動場のような地面と岩山の景色が延々と続いていました。地下水があるところでは道路脇に草が生えているところがあり、近くでナツメヤシ（デーツ）の栽培が行われていました。



砂漠



ナツメヤシ農園



タブークの町

このように、町以外はほとんど砂漠の道路を約3時間走って農場の開発地に着きました。農場の開発地も砂漠で2千万平米の土地にグリーンハウス、レイヤー農場、ブロイラー農場、などを造る大きなプロジェクトです。レイヤー農場の場所は12あるPlotのうちPlot6で、すでに第1期計画で育成舎4棟と成鶏舎6棟については進行中でその様子を見ることができました。第1期の鶏舎はすでに稼働中と思っていましたが、実際には、育成舎がほぼ完成、成鶏舎は3棟の建物と内部設備のいくつかがほぼ完成といった状態で、今後、集卵室、残り3棟の成鶏舎を含めた残工事を今年中に進め、来年の春に稼働が始まる予定とのことでした。また、水を得るため、地下900mの井戸を掘り（一本約1億円かかるとのこと）、9月に良質の水が出たとのことでした。ハイテムとの計画は第2期の成鶏舎6棟で建設予定の場所に日本とサウジアラビアの国旗とハイテムとRadwa両社のロゴ入りの旗を立てて歓迎してくれました。



開発地に建設中のグリーンハウス



第 1 期の成鶏舎内部

ハイテム鶏舎予定地 Plot6
(旗は右側約 300m 先)



実際に行って見てみると、今回のプロジェクトは、何もない砂漠に電気、水、建物、設備のすべてを作っていくという壮大なプロジェクトだということがわかり、そこに加わることができることをとても嬉しく思いました。農場の調査をする際には、現場の技術者の Abdullah さん（建築）と Hicham さん（内部設備）と現在据え付けしている設備についての意見交換も行い、タイマの町へ戻り、Khalid さんの家の会議室で関係者と仕様についての打合せを夜 10 時過ぎまで行い、その後、レストランで一緒に夕食を食べてホテルに帰りました。



朝食時撮った卵の
消費期限は 3 か月
だった



現場の昼食、夕食の
料理 米の上に肉
(鶏、羊) 野菜等
皆でつついて食べる

19日は朝8時に出発し、タイマからタブークまで車で戻り、飛行機で首都リヤド移動、レンタカーで市内のホテルに夕方入り、Radwa Chicken のオーナーの Mohammad さんが来るのを待ち、挨拶と今回の招待のお礼をした後、現場建築のアドバイザーのアメリカから来た建築士 Ed さんと合流シタ食会が開かれました。



Mohammad さんとの夕食会

左手前 Khalid さん

左中央 Mohammad さん

右手前 Ed さん

右奥 Abdullah さん

20日は、ホテルで Mohammad さんから Radwa Chicken とハイテムの提携の記念品をいただき、農業博覧会に参加するため展示会場へ移動しました。開会式は多くの関係者や報道関連の参加者の中で行われ、最後に農業大臣の前でサウジアラビアの農業関連の提携会社の式典が行われ、Radwa とハイテムの提携も紹介され、私も大臣と握手して、Mohammad さん、Khalid さんと一緒に記念撮影をしました。その後、大臣と一緒に展示会場に入りました。今回の展示会は、養鶏関係のブースはほとんどなく、グリーンハウス関係の設備や肥料の展示がほとんどでした。会場から近いレストランで遅い昼食をとって、ホテルに戻って少し休んだ後で、展示会場に戻り、集卵室で導入が決まっている Moba のブースに行き、20年程前までサルメット社員であった Moba 中東担当の Rik Bosch さんに久しぶりに会うことができました。その後、政府関係者なども招待した夕食会を行いました。



記念品の授与



Radwa Chicken のオーナー
Mohamedさんからいただいた記念品



展示会場



提携式典 左から Radwa Khalid さん、オーナー
Mohamad さん、農業大臣、私



ケバブの調理場



ケバブの裂いた鶏肉を挟んだシャワルマ

サウジアラビアへ行ったのは初めてでしたが、移動と暑くて乾燥していることが大変でしたが、人は親切で友好的で、現場の人たちも非常に熱心でハイテムの設備への興味や期待が感じられました。暑いこともあって夜型の時間で動くことで食事も日本の3時間遅れの感じで最初はなれませんでした。問題なくおいしくいただきました。

Khalidさんはプロジェクトを成功するために現場のHichamさんと今回は会えませんが設備の据付のアドバイスを受けているMarcinさんと一緒に、年内にハイテムに再訪問し、彼らの理解をさらに深めてハイテムの仕様を固めたいとの話がありました。また、Mohammadさんからは納期をできるだけ早めてほしいとの話がありました。そのような期待に応えられるよう頑張りたいと思います。



以上